

◇スライド資料①

外国為替

円高・円安、金利、物価、景気、複利の効果等

金融を、もっと面白く。



人生100年時代へ
新時代を生き抜く、お金との向き合い方

今日は
外為が音楽だよ

トレーダーズ証券
井口 喜雄
2024.6.20

MONEY
BOX

Vol.1



- どうやってお金を育てて行く？
- ・**外国為替を利用してお金を育てよう**
 - ・**会社を応援してお金を育てよう**
 - ・**未来を想像してお金を育てよう**



- 最後に
- なぜ今お金の勉強をするのか
- お金のことがわかると…
- ・世の中の仕組みがわかる
 - ・悪い話に騙されなくなる
 - ・夢をかなえることができる

体験ワーク「100億円」を使ってお金を増やそう

アメリカ・メキシコ・トルコ・南アフリカの中から一つ、通貨を選んで100億円分買ってみましょう。

買うタイミングは2018年1月、売るタイミングは2023年12月です。

アメリカのニュース 金利／物価	メキシコのニュース 金利／物価	トルコのニュース 金利／物価	南アフリカのニュース 金利／物価
<ul style="list-style-type: none"> ・フロリダの高校で銃乱射事件 ・ハワイ島でキラウエア火山が噴火 ・米英仏がシリア攻撃 ・米中貿易戦争が開始 ・ヨーロッパがグーグルに制裁金 <p>2.50% / +2.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・殺人事件件数が過去最多を記録 ・トランプ大統領が移民問題に関してメキシコを非難 ・新大統領就任、新空港建設中止を発表 <p>8.25% / +4.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易は約20年ぶりの黒字へ ・アメリカがトルコへ経済制裁 ・イスタンブール新空港建設、今後は世界最大の国際空港に <p>24.00% / +20.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・汚職疑惑を受け大統領がやめる ・GDPが前年からプラス成長に ・中央銀行が2年8ヶ月ぶりに利上げ <p>6.75% / +4.5%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・トランプ大統領「パリ協定」離脱 ・トランプ大統領「大幅減税」を発表 ・全米の各地で銃乱射事件が発生 ・長引く米中貿易戦争は世界経済に悪い影響 <p>1.75% / +2.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコの人口が世界10位へ上昇 ・トランプ大統領がメキシコ国境に壁建設 ・移民問題でアメリカとの関係が悪化 <p>7.25% / +2.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トルコとアメリカの関係が悪化 ・中央銀行が大幅な利下げ ・トルコが隣国シリアへ軍事侵攻 <p>12.00% / +12.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国営の電力会社が大規模な停電 ・ラグビーW杯で3度目の優勝、世界1位に ・コンゴでエボラウィルス流行「緊急事態」 ・ミス・ユニバース世界大会、南アフリカ代表が優勝 <p>6.50% / +4.0%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・トランプ大統領「WHO脱退」を表明 ・民間初の有人宇宙船打ち上げ ・米株、史上初の3万ドルまで上昇 ・景気下支えのため中央銀行が利下げ開始 ・ハリケーン「サリー」で40万世帯が停電 <p>0.25% / +1.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易黒字が過去最高を記録する ・メキシコ航空大手エアロメヒコ倒産 ・アメリカの大統領がトランプ氏からバイデン氏に変わり両国の関係が好転 <p>4.25% / +3.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒海でトルコ史上最大の天然ガスを発見 ・アメリカがトルコに経済制裁 ・トルコ初となるリチウム生産工場が開所 ・GDP成長率1.8%達成、コロナ禍のG20では中国・トルコのみがプラス成長へ <p>17.00% / +15.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源価格高騰で南アフリカに追い風 ・プラチナの価格が急上昇 ・金の価格が急上昇 <p>3.50% / +3.1%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ経済が急回復、世界経済の回復につながる ・大統領交代、バイデン大統領誕生 ・トランプ氏支持者、米議事堂占拠 <p>0.25% / +7.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央銀行が利上げを決定 ・メキシコの貧困率が人口の約半分に ・アメリカとの国境における拘束者が過去最高を記録 <p>5.50% / +7.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エルドアン大統領が利上げ反対 ・2036年夏季オリンピック誘致を発表、イスラム圏の初五輪開催に期待高まる ・GDP成長率11.0%と10年ぶりの急成長 <p>14.00% / +48.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・失業率が過去最悪の34%まで悪化 ・南アフリカで見つかったコロナウイルスの変異株オミクロンが急拡大 ・公的債務(国の借金)、GDP比80%に <p>3.75% / +5.9%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの失業率が低下 ・中央銀行が大幅利上げ ・アメリカのIT企業群であるGAFAMの時価総額（会社の価値）が更に拡大 <p>4.50% / +6.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコの治安が悪化。世界137位 ・メキシコでM7.7の地震発生 ・大統領は高い支持率を維持 ・メキシコは隣国そのため、好調なアメリカ経済の恩恵を受けて経済成長が加速する <p>10.50% / +7.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エルドアン大統領が、物価上昇が止まらない中で利下げを求める ・ミシュランがトルコ版グルメガイドを初めて発行、1店が2つ星 ・トルコ年間の観光客数、世界第3位に <p>9.00% / +57.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国との経済関係強化を図る ・石油の価格上昇続く ・国内の人口、10年で20%増加 <p>7.00% / +7.2%</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・IT企業を中心に好調な経済状況続く ・アメリカ中堅金融機関が続けて経営破綻 ・ハワイ大規模山火事 <p>5.50% / +3.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年連続で3%超える高い成長率を維持 ・失業率が2%台と好調な労働環境 ・金利が歴史的な高水準まで上昇 ・新たな観光鉄道「マヤ鉄道」開業 <p>11.25% / +4.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇が止まらず、前年比64%の増加 ・金利が40%を超える ・トルコ・シリア大地震発生 ・建国100年を迎える <p>42.50% / +64.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーW杯で4度目の優勝 ・金の価格が史上最高値へ ・アフリカ大陸で唯一のG20参加国 ・電力不足が深刻化 <p>8.25% / +5.5%</p>

①どの国の通貨を100億円分買うか？

各国の通貨：アメリカドル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド

②この国の通貨を買った理由は？

※パリ協定 温暖化止めため、世界の共通目標を掲げる国際的な枠組みのこと

※GAFAM Google・Amazon・Facebook（現Meta Platforms, Inc）・Apple・Microsoftの企業名の頭文字をとった呼び名

※GDP 日本語では「国内総生産」わかりやすく言うと「もうけ」のこと。つまりGDPは、各国でどのくらい景気がいいか、経済状況はどうなっているか示す数字

※WHO 世界保健機関

※G20 世界の主要20か国・地域のこと G7（フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ）及び欧州連合（EU）に加え、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、中国、インド、インドネシア、メキシコ、韓国、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ及びアフリカ連合（AU）から成る